

## 様式第1号

## 会 議 録

会議の名称	平成29年度 第1回 所沢市総合教育会議
開催日時	平成29年9月25日(月) 午後3時30分から午後4時45分まで
開催場所	こどもと福祉の未来館 多目的室1・2号
出席者の氏名	所沢市長 藤本 正人 教育長 内藤 隆行 教育長職務代理者 大岩 幹夫 教育委員 吉本 理、教育委員 中川 奈緒美 教育委員 寺本 彰、教育委員 清水 国明
欠席者の氏名	
説明者の職・氏名	
議題	(1)大綱について (2)その他
会議資料	・資料1 所沢市教育大綱 策定に当たった考え方 ・資料2 所沢市教育大綱(案) ・資料3 所沢市総合教育会議の運営に係るガイドライン
担当部課名	経営企画部：平田部長、粕谷次長 企画総務課：内野課長、山屋副主幹 教育総務部：美甘部長 教育総務課：千葉課長、青木主査 学校教育部：田中部長、岩間次長  経営企画部企画総務課 電話 04(2998)9046

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	<p>議長である藤本市長の進行により議事が進められた。</p> <p>（１）大綱について</p> <p>事務局からの説明が以下のとおりある。</p> <p>いわゆる地方教育行政法 第 1 条の 3 では、「地方公共団体の長は、地域の実情に応じ、当該地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めるもの」とされています。また、「大綱を定めるときは、あらかじめ、総合教育会議において協議するもの」とされています。</p> <p>資料 1 の「策定に当たっての考え方」ですが、この「考え方」は、平成 28 年 12 月開催の総合教育会議において確認された事項となります。</p> <p>1 の「位置づけ」ですが、大綱と教育振興基本計画との関係性として、総合計画における「基本構想」と「基本計画」のような位置づけになると考えられ、大綱では、本市の教育に対する理念や、将来に向けた方向性・目標を示すものとし、具体的な施策については、教育振興基本計画において示していく、という形になると考えられます。</p> <p>2 の「計画期間」は、特に設定しないこととし、記載内容は継続的に適用できる普遍的な内容とすることとしています。</p> <p>3 の「分量」は、A4 判 1 ページ程度でまとめるとされています。</p> <p>4 の「構成」ですが、「基本的な考え方」と「基本理念」で構成されることとなっており、「基本的な考え方」では、どのような考えで、何を目指して教育行政に当たるのかを、簡潔な文章で記載します。</p> <p>また、「基本理念」で「基本的な考え方」に基づく理念を掲げることとなっています。</p> <p>5 の「策定期間」についてですが、「位置づけ」で説明したように、「教育振興基本計画」との関係性があることから、「教育</p>

議長	<p>振興基本計画」の改定作業の時期に対し、大綱ができるだけ先んじて定まっていることが望ましいため、囲みの中の策定スケジュールを前倒しの方向で変更させていただきました。次の「教育振興基本計画」の計画期間が、平成 31 年度からとなりますので、大綱の策定を平成 31 年 4 月としていたものを、平成 30 年 4 月に変更させていただきたいと思います。それに伴いまして、パブリックコメントを本年 12 月頃に実施するスケジュールとしています。</p> <p>資料 2 に基づき、大綱（案）の説明をする。</p> <p>この大綱案は、藤本市長が自ら作成したのですが、市長部局と教育委員会の事務方からも、意見を入れながら作成したものです。</p> <p>資料 2 「大綱（案）」読み上げ</p> <p>「大綱」にはいろいろなパターンがありますが、大きい「大綱」として、特に市長として望むこと、目指すことを具体的に挙げたものです。</p> <p>前文は、大人たちが覚悟をもって、伝えていくべきこと、残すべきことをできる限りより良い形で文章にしたつもりです。</p> <p>一般的でない表現でも、あえてそういう言葉を選んでいる部分もあります。</p> <p>「目指す四つのこと」のうち「心身の鍛錬」については、子供たちが社会に巣立っていくまで、義務教育で力をつけてあげるという思いで書きました。教育とは自然の中で生き抜いていく力を、親や周りの大人達が子供たちに伝えていくことだという、そういう意味を込めました。</p> <p>「基礎知識の養成」については、将来的にも必要となる、小学校でつまづきやすい分数の計算や九九などの基礎基本となる部分で、もっと大人の力を動員して、子供たち 40 対大人 1 よりも 30 対 1、さらに 20 対 1、3 対 1 よりも 2 対 1 といったように、</p>
----	---

施策として資源を投入して手厚くしたい、という意味を込めています。算数だけでなく、教育委員会でこれはと思うものがあれば、全面的に応援するという覚悟を表しています。

次に「価値の提示」についてです。教育とは、教師が生きる姿を示して、子供たちに伝えるべきことを伝えるということだと思えます。今は、教育全般がシステムに落とし込まれすぎていると感じます。校長や担任の先生の生き方を子供にきっちり伝えていくことがなければならないと思います。それを環境として確保してやるのが大人たちの役割で、そういう意味で「価値」を伝えるとしました。

「いじめはしない」などによく言われるわけですが、それは単なる事象を捉えているだけです。大勢で少ない人数を責めないとか、力の強いものが弱いものを制することとか、そういったことも、「卑怯なことはしない」という言葉でまとめられます。価値を伝えられるような教育ができたらいいな、と考えました。

「経験の蓄積」については、義務教育の間に、これから荒波にもまれていく、社会でしっかりと生き抜いていく力をつけさせてやらなければならないという思いがあります。それには、特別活動や部活や勉強など、様々な経験を通して力をつけてほしい。全ての教育を通して、自分に自信をもって、人の素晴らしさを信じて、これから荒波にもまれていってほしいという思いや願いがあります。特に特別活動についてはしっかりとやっていってほしいと考えています。

最後の2行については、所沢市としての覚悟を示しています。やらなければいけないということです。大人は社会の現実を見すぎて、物事を最初からあきらめてしまっているところがあるが、子供と対峙した時にはしっかりと、大人達も子供の前では背筋を伸ばして、自分を見る、という姿勢を忘れないでほしい、という意味を込めて、憧れの存在となるべく、範を示していこうという、あえて社会に、大人に対して求める言葉を入れました。

ご意見・ご質問等がありましたら、挙手をもってお願いします。

<p>大岩教育長職務代理者</p>	<p>事務局、教育委員会はどのように関わったのでしょうか。 この大綱を学校に出して、これを目指してがんばってもらいたいということではないということの良いですか。</p>
<p>議長</p>	<p>市や大人達の心構え、ということです。</p>
<p>事務局</p>	<p>教育委員会も含め、事務局としては、市長が作成したものに対する意見を伝えました。</p>
<p>中川委員</p>	<p>藤本市長らしい、という感想です。表現として、誰にでも伝わる普遍性のある形にした方が良いと思います。 また、男性からの目線が強いと感じました。世の中には良い悪いでなく、ただ受け入れるしかないこともあり、つらいときにはつらいとって良いし、助けがほしいときに助けを求める力が大事ということもどこかに入れてもらえたらと思います。</p>
<p>寺本委員</p>	<p>文章の主語は、具体的には大人、ということと考えられますが、この内容だとハードルが高いので、これならできる、というくらいのやわらかい表現にしたらいかがでしょうか。 「経験をさせる」という表現については、経験の蓄積の場を子供たちと大人たちが一緒にやっていくというような表現にできないか。 「人と自然の中で、心と体を鍛える」という言い方は、「心と体を鍛える人と自然を云々」というような表現の方が良いと思います。 「所沢市は真に子どもを大切にするマチとなろう」の「となろう」という表現は「マチになろう」の方が良いと思います。その方が自分の意思でという意味が伝わるのではないのでしょうか。</p>
<p>吉本委員</p>	<p>市長の強い思いも入っているし、立派な子どもを作るという意思がはっきりしていると感じました。大綱自体はこれでいいと思いますが、市長の思いを伝える手段として副読本のような解説を</p>

<p>清水委員</p>	<p>つけたら良いのではないのでしょうか。というのも多様な価値観があるのだということを知ってほしいので。</p> <p>私は、大変良いと思いました。藤本市長自ら書いており、感銘を受けました。</p> <p>あえて言わせてもらおうと、学習というのは、自ら学ぶ姿勢が基礎基本だと思っているので、そういうニュアンスが含まれていると良いと感じました。</p> <p>「人と自然の中で、心と体を鍛える。」という表現で、自然ということを入れていただけていますが、所沢の自然は都会的な自然なので、本物の自然に触れる機会がありません。本物の自然の中で学べる機会があると良いと思いました。</p>
<p>大岩教育長職務代理者</p>	<p>「大人は憧れの存在となるべく、範を示していこう」は、まさにその通りだと思います。しかし、現実はそのとて言い難いところです。大人が子ども達の手本となるためどうすべきか、その覚悟や責任、努力すべきことなどを示すことが大切です。</p>
<p>中川委員</p>	<p>大人たちが、日々一生懸命生きている姿を見せることが範を見せるということだと思います。大人から学んで欲しい。</p>
<p>議長</p>	<p>事務局からの説明で、大綱は継続的に適用できるもの、という説明がありましたが、私が市長でなくなったら変えられてしまうものだと思って書きました。</p> <p>県の予算で採用されている先生が余裕をもって思いっきりできるように、市の予算においても学習支援員などの人材を投入しています。</p> <p>私としては、市長部局も教育を応援していくという覚悟を示す意味で作りました。</p> <p>「命を尊ぶ誓いがなくてはならない。」とは、いやなことがあったら立ち向かう力も必要だし、うまく逃げる力も必要、一休みもいい、いろんな手法をもってして命は絶対に失わせないという</p>

<p>教育長</p>	<p>ことを集約した表現にしたつもりです。</p> <p>教育大綱は市長部局のトップの考えを表さなければならないので、教育委員会事務局がどう考えるかは教育振興基本計画に反映されるものと考えます。</p> <p>全体的には市長らしくて良いと思います。</p> <p>表現として、「烈風の中に置かれても、耐えて逞しく、奮って勇ましく、」は逃げてはいけないイメージにとらえられないでしょうか。一時的に避難したりすることも大事ということは、「命を尊ぶ誓い」に織り込まれているということですが、市民が誤解しないか心配です。</p> <p>所沢市の教育の基本理念「三つの宝」はぜひ盛り込んでほしいと思います。「ふるさとの宝である子どもたち」は「ふるさとを愛しながら社会に躍り出ていく」のような表現になると良いと思います。</p>
<p>清水委員</p>	<p>同じことを伝える場合でも、共感を得られるような表現にすると印象が随分と変わると思います。</p> <p>大綱というのは、説明が必要な文章で良いと思います。法律でいえば憲法のようなもので、細かい意味は説明をつければ良いのだと思います。</p> <p>国語的、文学的に完璧にする必要はないと考えます。考えさせる文章の方が人々の心に残りますので。そういう意味で、この大綱は非常に印象深い文章で、藤本市長らしくて良いと思います。</p>
<p>議長</p>	<p>大綱の解説をつけるようなことも検討したいと思います。</p> <p>本日いただいたご意見を参考に斟酌し、最終案に向けて検討していきたいと思います。</p> <p>(2) その他</p>

寺本委員	資料3については、何がありますか。
事務局	資料3については、本会議のガイドラインになりますが、事務局が今年度より経営企画部経営企画課から企画総務課に変更となったことの報告となります。
吉本委員	学校訪問をした際に、校舎の壁が古くなって塗り替えられていないなどの部分が気になりました。施設の修繕等についてお尋ねしたい。
議長	教育の予算は増やしてきています。できるかぎりスピードはあげたいと考えていますが、全体の中で、優先順位を考えざるを得ない部分があります。
議長	<p>隔週土曜日の学校開校を公約にしてすでに6年がたちました。新しい3学期制をやっていただいただけで、たいへんな苦勞をおかけしたと思いますが、隔週土曜日開校について、私の考えをお伝えしたいと思います。</p> <p>なぜ隔週土曜日かというと、月のうち、2回だけ土曜日に4時間開校すれば、授業が8時間増えます。</p> <p>昔は週6日でやっていたものを今は5日でやっているの、小学校低学年の子でも6時間授業がたくさんあります。それが本当に良いことなのかと思っています。</p> <p>さらにこれから、小学校の英語も教科になってくるということで、まだこれから授業実数が増えるのです。となると、さらに一日の授業数が増えます。6時間目の授業の一部を土曜日に移行すれば、一日のながれにゆとりが出てくると考えています。</p> <p>土曜日の放課後ができれば、委員会活動や文化祭の準備、合唱祭の練習など、いろいろなことにじっくりと取り組める時間になります。</p> <p>先生たちにとっては、今はすべて授業やその準備などに時間を取られるので、結果的に子供たちと先生が授業以外で接する時間</p>



事務局	<p>が減っています。土曜日に授業をすることで少しゆとりが生まれれば、そこで文化的な活動や、特別活動をする時間が生まれ、大綱の「自分に自信を持ち、また人の素晴らしさを知る経験を」持つ、ということにつながります。授業ではなく、それ以外の活動によるところが大きいのです。</p> <p>土曜開校とすることで学校の先生の代休が取れないという問題が生じますが、夏休みにしっかりと休みを取ってほしいと考えています。</p> <p>勉強をさせたいということではなく、ゆとりのある学校教育環境のために、隔週土曜日開校という考えを持っているということです。</p> <p>以上が私の考えることです。本日は、皆さんにお伝えして終わります。</p> <p>これで本日の会議を終了とします。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
-----	---